



4

第39回日本ハンドボールリーグの開幕が近づいた。第1節は10月25日に開催。岩手県営体育館で男子・大崎電気vs琉球コラソン戦、女子・北国銀行vs三重ハイオレットアイリス戦など男女計7試合が行われる。野球、サッカーなどメジャースポーツに人気、話題性と大きく水をあけられている中、どうすればハンドボール復興のノロシを上げられるのか? 日本ハンドボールリーグ機構の多田博会長に聞いた。

「ハンドボールとの関わりを聞かせて下さい。」

「出身地の大阪府豊中市は、もともとハンドボールが盛んな地域。豊中第五中に入ると在校生全員が、ハンドボールをやらざるを得ない環境でした(笑)。進学した豊中高でも、京大に入ってもハンドボールを続けたのです。が、大学時代に『自慢が3つ』あります」

「何でしょう?」

▽ただ・ひろし 45年3月3日生まれ。大阪府出身。68年に京都大工学部卒業後、三井物産入り。03年から米国三井物産社長。06年に三井物産の副社長。09年に日本ハンドボール協会・副会長に就任した。10年4月から日本ハンドボールリーグ機構の会長を兼務。

「まずは2年時に関西1部リーグ制。次にその年に全日本選手権に出場し、1回戦で強豪・東京教育大(現筑波大)を撃破したこと。3つ目に在学中は2部に降格しなかったこと。京大の歴史では好成績だったので、胸を張ってOB会に出席できるのがうれしいですね」

「ハンドボール日」

本代表は、88年ソウル大会を最後に五輪に出場できなくなり、国内人気も低迷から脱し切れません。

「ソウル五輪前から韓国が強さを始め、男女とも本大会でメダル獲得。以来、アジアの強豪の座を守っています。中輪でメダルを獲得し、その後東勢も力を付け、五輪出場をもアジアの強豪の地位を守り



◎六川則夫

リーグ参画チームを増やして 魅力をアピールします!!

果たせなくとも国内の注目度も大きくダウン。NHKのニュースでハンドボールの結果は、テロップにさえも出ません」

「厳しい現状です。」

「男女ともにリーグ参画チームを増やすのが急務と考え、

男子は一昨年にトヨタ自動車東日本(宮城県)が加わって計9チームに、女子は昨年に飛騨高山ブラックアルズ岐阜(岐阜県)が加わって計7チーム体制になりました。ネットワークなのが、東京と大阪にチームがないこと。可及的速やかに解消しなければならぬと思っています。来年は日本リーグ40回目の節目の年。東京、大阪に新チーム誕生!と良い報告が出来るように至精力を傾けているところですよ」

「39回目のリーグが10月25日に開幕。見どころを教えてください。」

「男子では沖縄県の琉球コラソンです。06年に発足した地域密着型のクラブチームとして日本リーグや全日本選手権でも存在感を示し、リーグ初年度メンバーである湧永製薬、大同特殊鋼、大崎電気といった伝統チーム相手にどんな戦いを見せてくれるか、非常に楽しみです。ハンドボ

ールはスピードディーな攻守のせめぎあいと激しいフィジカルコンタクトが魅力。そして多くの得点が入るエキサイティングなスポーツです。たくさんの方に面白さを知ってもらえるように頑張ります!!」

(次回5回目は25日発売号11月26日付号に掲載)